









お花の栽培シリーズ「リンドウ」

2008年6月	水無月(みなづき)・且月(しよげつ)・無水月(みなづき)・風待月(かぜまちづき)・鳴雷月(なるかみつき)	●梅雨で雨が多い時期
<p>●梅雨でジメジメとした日が続きます。 春の草花の切り戻しをして長く持たせたり、春花壇の片付けをして夏の準備を始めます。 ●雑草の多くなる時期ですので、こまめに除草をしましょう。</p>		
庭木の作業	・花の終わったアジサイやサツキの切り戻し。	
草花の作業	・春花壇を片付け、夏花壇へ模様替え。 ・チューリップやスイセンなど、春咲き球根を掘りあげて、保管する。	

今月の誕生花	カラー、クちなシ、バラ		
今月の花	<p>レンゲソウ 花言葉 / 私の苦しみをやわらげる</p>		
	<p>日本では「春の小川はさらさらゆくよ。岸のすみれやれんげの花に…」という「春の小川」の歌で有名な花です。</p>		
	<p>ギリシャ神話に登場する 仲良し姉妹の話です。 ある日、二人は祭壇に捧げる花を 積みに野に出て、水辺に咲いているレンゲソウを見つけました。 姉のドリュオベが摘むと、折った茎から血が流れました。</p>		
	<p>その花は いやな男から逃れるため、ニンフが姿を変えたものだったので。ニンフの代わりに、もう彼女の足は 草に変わり根が張っていました。「花はみな女神が姿を変えたもの。もう花は摘まないで」と言い残して、ドリュペはレンゲソウになってしまったということです。</p>		
	<p>レンゲソウは、肥やしとしての価値も高いため、秋に収穫した後の田にレンゲの種を撒き、春の満開時に その田の中にすきこみます。 薬効もあり、そこから『わたしの苦しみをやわらげる』という花言葉になりました。</p>		
<p>原産地は中国。マメ科ゲンゲ属の越年草。草丈は10～30cm。開花時期は4～6月。最盛期は5月。葉の形状は、互生、奇数羽状複葉、小葉は長さ0.8～1.5cm。花色は、赤、白。英名ミルク・ベッチ (Milk vetch)。別名ゲンゲ、ゲンゲバナ、蓮華草(漢字表記)。花持ちは4～5日程度。</p>			
<p>この花のハチミツは おいしいことで有名です。この花言葉を使いたいとき、花ではいかにも 雑草のようだと思ったら、ハチミツを 花言葉と共に 贈ってはいかががでしょう。</p>			

お花の栽培シリーズ

今月の花 リンドウ

日当たり  日なた	水やり  水を好む	気温  12~25℃	草丈  30~80cm	花色   
--	--	---	--	---

山草の草原などに自生する草花で、紫の花が直立する きりっとした印象が好まれています。元来が山野草ですから、冷涼な気候を好み、耐寒性があります。日当たり、水はけ、風通しのよい場所で育てます。

水を好むので、春から秋にかけては 毎日水やりをします。冬も乾かない程度に水やりをします。ただし、多湿なのはよくありませんから、水はけのよい用土に植え付け、鉢植えの場合は 下にたまった水は捨てるようにします。また、花に水をかけると 傷んだり変色したりしますから注意します。花は日に当たると咲き、曇りの日は閉じます。日光を好みますが、夏の直射日光は苦手な葉焼けを起こしますから、半日陰で管理します。特に地温が下がらないように、枕元を保護します。

株を購入する場合には、節間がつまり、下葉が枯れていないものを選びます。



● 植え替え/株分けのやり方



3日頃に株分け、植え替えをする!!

ドライバーを使うと、作業がしやすい!!

手で裂くようにしながら、株分けを行う!!

水はけ、保水性のよい土に植える!!

赤玉土：桐生砂
5：5

● 摘芯のやり方



2節を残して 茎を切り戻す!!

わき芽が5~7cm 伸びたら、2~3節 残して芯を止める

摘芯すると、こんもりした感じに仕上がる!!

4~5月に摘芯して わき芽を育てる ようにするとよい

● 挿し芽でふやす

下葉を取る

水揚げして、川砂などに挿す!!

●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
生育状況									花期 				
置き場	屋外の日当たりのよい場所						屋外の半日陰 露地栽培は 日よけをする			屋外の日当たりのよい場所			
水やり	乾燥気味にする (5~6日1回)		表土が乾いたら与える (1日に1回)			表土が乾いたら与える (1日1~2回)			表土が乾いたら与える (1日に1回)		乾燥気味にする (5~6日1回)		
肥料												週に1~2回液肥を与える	
害虫	アブラムシやヨトウムシの予防に 月1回薬剤を散布する												
作業	植えつけ 		挿芯 				挿し芽 		花がら摘み  花が終わったから ガクの下から花がらを 摘み取り、結実を防ぐ				
	植え替え/株分け 												